

日頃の訓練を発揮できました！

懸命な救命活動に消防感謝状を贈呈



令和6年2月22日（木）、西武池袋駅の駅員二人の応急救護活動に対して、豊島消防署長から、消防総監賞が伝達されました。

令和6年1月上旬の朝、通勤ラッシュの時間に西武池袋駅で50歳の女性が倒れました。周囲の乗客から連絡を受けた駅員の二人が駆け付けると、心肺停止状態の女性が倒れていました。

「倒れたお客様を発見して、最初は驚きましたが、日頃の訓練を思い出し、119番通報とAEDの搬送依頼、心臓マッサージを実施しました。日頃の訓練が役に立ち、自然と体が動きました。」

二人の駅員は、精一杯応急救護を実施し、到着した消防隊、救急隊に引継ぎました。駅員と消防隊員が、連携して救命活動を行ったことで、女性は病院に搬送される前に呼吸と脈拍が回復し、その後の経過も良好とのことです。